

なごやの学童保育

市連協ニュース No7

2021 年度・12 月 7 日発行

名古屋市学童保育連絡協議会

TEL (052) - 872 - 1972

FAX (052) - 308 - 3324

E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

市が放課後施策で検討会

市連協からも委員参加

名古屋市の今後の放課後施策を調査・審議する市主催の検討会が始まっています。名古屋市学童保育連絡協議会（市連協）からは、専従の賀屋が委員として参加しています。

なごや子ども・子育て支援協議会の専門部会として「放課後施策検討部会」が設置されました。9月から会議が月1回のペースで開かれています。2022年3月までに考え方を取りまとめ、同年6月のなごや子ども・子育て支援協議会へ報告し、今後の名古屋市の具体的な施策に反映されます。

主な論点には「学童保育の待機児童をゼロにすること」、「学童保育がない小学校区をなくすこと」があります。そして「学童保育を分割・新設しやすくして増やすためにはどうするか」、「トワイライトルームは学童保育のない小学校区につくっていくという方針のままで良いのか」などが話し合われています。

学童保育に関しては、学童保育の合同運営のあり方や法人化についての考え方などが論議されています。（報告＝賀屋哲男）

懇談継続で関係良好

港区連協が区と懇談会

11月19日(金)に港区学童保育連絡協議会は『港区と学童との懇談会』を行いました。



懇談を行うにあたっての要望書は、大きく以下二つの項目で構成ししています。

- ・名古屋市への上申項目
- ・港区への要望項目

事前に文書回答をいただいていることから、懇談会では文字通り、各学童が置かれている状況や、私たちの願いを区の担当者に共感していただけるよう、“懇談”に重点を置いています。

こうした懇談会を継続してきたことで、区の担当とは良好な関係を構築することができています。例えば、市への上申事項について以前は、「上申し

ます」といった通り一遍の回答しか得られませんでした。ここ数年は丁寧な回答をいただくことができるようになりました。

また、成果としては港区独自の助成金説明会開催などがありますが、それ以上に、迅速な情報伝達や書類提出時における丁寧な対応などは、大きな成果であるといえます。

今後もこうした懇談会を継続して行くことで、施策向上のための一翼担っていきたいと思います。

なお区との懇談会は議員懇談の機会としても位置づけています。毎回、港区選出の県会議員と市会議員には参加を要請しています。今年度は1名の市議の参加がありました。

※要望書と回答は右のQRコードから参照して下さい。



保育・運営向上で意見交換

緑区連協が議員と懇談

緑区学童保育連絡協議会は11月18日(木)に、緑区選出の議員のみなさんと懇談会を開きました。

緑区では議員のみなさんと小さなことでも意見を交換をできる関係を目指して、数年前から区連協の担当に議員担当を設置し、1年を通して密な関係づくりを目指しています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で規模は縮小しての開催となり

ましたが、国・県・市全ての議員のみなさんと会派に関わらず継続的に関わっています。

懇談の内容は、家賃補助増額に伴っ



て可能性が広がったことによる土地や施設について新たなスキームの提案、合同運営などを取り入れることによる指導員の採用と継続雇用、保育上の悩みへのサポートとしての巡回支援相談の試験導入などでした。

参加された議員からも「銀行での手続きや土地を借りることへのハードルの高さがあることが年々分かってきた。これからは名古屋市における学童保育の位置づけを考える時期であるかもしれない」という意見や、「小さくてもいいので、合同運営や巡回支援相談を使ってみるということも検討する時期ではないか」と力強い意見をいただきました。

以前は互いに一方通行の場であった議員懇談会が、年を重ねるごとに深まり、そして新しい未来に向かって区連協内で代替わりしながらもしっかりとバトンが繋がっていることを感じられた会となりました。